

業務委託において委託元に起因する情報セキュリティ問題に関する研究

Study on information security risks caused by an outsourcer in outsourcing

梅原直之・ネットワーク分科会・情報セキュリティ大学院大学

1. 研究背景

我が国におけるサービス・システム開発業務を委託している企業は、全体の約64%を占め(IPA, 2020)。企業内のICTプロフェッショナル人材は、欧米の約60%と比較して約28%と不足しており、重層的な下請け構造の常態化と相まって、業務委託先への依存度を高めている(NTTデータ先端技術, 2023)。また、令和5年度には業務委託先が関わる個人情報の漏洩事案が343件発生しており、委託先の監督に関する重要性が増している。(個人情報保護委員会, 2024)

2. 目的

本研究では、業務委託元の適切な委託先管理を阻害する要因を特定し、有効な対策手法について提案する。

3. 先行研究

- ◆ 個人情報を取り扱う情報システムの運用委託において、安全管理が適切に行われなかった背景には企業の経営理念にセキュリティ意識が根付いていなかったことを指摘。(井上, 2021)
- ◆ 業務委託先への安全管理を懈怠し、基本的なセキュリティ対策さえ実施していなかった問題に関して責任感喪失リスクを指摘。(樋口, 2015)

4. 先行研究で解決していない点

- ◆ 責任感喪失リスクに影響する要因
- ◆ 責任感喪失リスクに有効な対策手法

5. 今後の研究計画

責任感喪失リスクに関連する論文や事例を調査し、有効な対策手法の検討及び検証を実施する。